

地域からの循環型社会づくりに関する意見交換会の進め方

平成21年1月28日(水) 18:30~21:00

環境パートナーシップオフィス(EPO)会議室

- ・より多くの意見が出されるよう、ワークショップ形式のグループ・ディスカッションを行います。
- ・参加者の方々は、テーマ別に5つのグループに分かれます。
(ブリーフィングを聴いた後、みなさんの関心によってグループ分けを行います。)

テーマ(1) 自然共生社会、低炭素社会との統合的な取組

荒廃が進む里山を整備し、その管理によって生じる間伐材などの未利用資源を地域内で循環・再利用する取組や、家庭や商店、学校などから出される生ごみを堆肥化し、それにより生産された野菜を、また地域の商店で販売し、各家庭や給食で消費する「地域循環圏」に繋がる取組事例などがあり、これらを例として統合的な取組の可能性について考えます。

テーマ(2) 地域自主協定による取組

自治体と事業者(ファーストフード・コーヒーショップチェーン店)の自主協定による使い捨て容器削減と容器のリユース推進事業や、各地域におけるレジ袋削減についての協定化などの事例に着目して、地域自主協定の可能性などについて考えます。

テーマ(3) 地域コミュニティの再生、活性化に繋がるNGO/NPOの地域における役割

循環型社会形成に資する持続可能かつ広がりのある活動(ネットワークの形成や次世代の人材育成など)を行うために、住民、事業、自治体の連携・協働のつなぎ手としてのNGO/NPOの役割について考えます。

テーマ(4) 環境と経済の好循環を生み出すビジネスモデル

地域の環境を良くすることが地域の経済(雇用の拡大など)を発展させ、地域の経済が活性化することによって地域の環境も良くなっていく、環境(WIN)と経済(WIN)の関係について、リデュース、リユース、リサイクルの3Rの取組に着目して、今後の可能性を考えます。

テーマ(5) 地域住民のごみ問題に対する意識改革とライフスタイルの見直し

一人ひとりが、循環型社会づくりの必要性と目的を理解し、「もったいない」の考えに即した具体的なライフスタイルの見直しを行うためには、地域においてどのような取組が必要か考えます。

- ・グループでは、自己紹介のあと、テーマについて質疑応答を含め、新たに地域からの循環型社会づくりについての課題、障害となっていることや良いと思う政策の視点や考え方、具体的な政策提案などについて、議論をしてください。
- ・議論の中で出た意見はポストイットに書き込み、後半で整理を行います。
- ・各グループより、それぞれでのグループでの議論の結果を発表します。それぞれの意見に対して、全体でのディスカッションを行います。